

稲包山紅葉ハイク報告

【山城】群馬県・稲包山（1597.9m）

【日程と天気】2019年10月27日 曇りのちにわか雨

【メンバー】CL 菊池・鶴田・寺崎・石橋・小俣

【行程】

千葉（菊池家発 3:00）ー寺崎・石橋 PUー月夜野 ICー三国トンネルー国道 353 号ー
旧三国スキー場駐車場 7:17ー湯ノ沢渡渉ー三坂峠ー小稲包山ー10:12 稲包山 11:00
ー13; 32 駐車場ー湯宿温泉太陽館入浴ー帰葉



- ・当初、信越トレイルと荒船山の計画であったが、台風による影響でエリア変更を要した。NHK第一ラジオの「山カフェ」の紅葉特集で紹介された稲包山は新潟県と群馬県の県境に位置する群馬百名山の一つ、知る人ぞ知る紅葉ハイクのエリアとのこと、月夜野ICから三国トンネルを抜け苗場スキー場の手前・浅貝から短い国道 353 号線 (3.9 km) を進み、旧三国スキー場駐車場（標高 1150m）が登山口である。昭文社地図では稲包山山頂までの標準タイムは 3 時間であるが、登山口の標識には 4 時間と書いてあり、これは大変とプレッシャーを感じた。長岡ナンバーの先行車が一台、7:20 スタートとなった。

・湯ノ沢に沿った緩やかな登山道は泥濘が結構ある登山道、綺麗な紅葉した木々を楽しみながら進んだ。笹が多く熊の出没要注意である。写真を撮りながら 1 時間～1 時間半に一回 5 分～10 分程度の休憩といういつものゆっくりペース。三坂峠に向かう急登りの前に渡渉が 3 回、最も苦勞する渡渉地点では、やや水量が多くバランスを崩さないように慎重にクリアした。



素晴らしいブナ林の登山道、高気圧の張り出しが遅れ新潟県側はガスが湧いて視界がやや悪い。三坂峠から稜線のアップダウンを繰り返し、ロープのある要注意エリアもすこしある。足元の真っ赤な葉っぱに癒されながら、小稲包山を通過し、三国峠からの登山道が



合流し間もなく山頂に到着した。所要時間は 2 時間 55 分と順調であった。



- ・群馬県側は徐々に視界が開けて薄日が差すようになり、ゆっくり休憩、カップ麺、ドリッ
プコーヒーなどを楽しんだ。視界が開けてきて、武尊山や尾瀬の山々、四万川ダムも俯瞰
できるようになった。そこからの登ってきた単独者と談笑した。



- ・下山開始しようとするすると陽がさしてきて視界が広がり、しばし撮影タイムをむさぼった。



新潟県側の雲がなかなか切れないが、多彩な紅葉斜面を楽しみながら往路を下山した。三坂峠に戻ってくる頃にはにわか雨が降るようになり、カラマツ林に映えるカエデの紅葉が素晴らしかった。



やや水量の増した渡渉、Tさんがバランスを崩さないようにクリアした。湯ノ沢溪流に沿って写真撮影を楽しみながら最後尾でゆっくり下った。標高 1200m～1000mあたりが紅葉の旬であり多彩な色彩を味わえた。登山口間近、鮮やかなカエデの紅葉樹です。13:32 駐車場に到着、にわか雨が強くなっていた。にわか雨





は天気雨に変わり陽がさしてきて止んだ。すると対岸の奇怪な立岩のある錦の斜面に虹が発生。歓声が上がった。



フィナーレを飾る自然の素晴らしい演出に拍手！！満足度は登りの 80%から、視界が開けてきた山頂で 100%に上昇、下山路の多彩な紅葉で 120%に上がり、最終的に 150%に急上昇した。



噂に違わない素晴らしい稲包山であった。湯宿温泉太陽館で入浴（ネットで割引券を印刷して持参 600 円→500 円とリーズナブルなちば山料金に大満足）して渋滞の中、帰葉した。

